

2018/7/27

神代植物公園

植物多様性センターの「クズ」

暑い日が続きますが、この暑さの中で一段と元気な植物がクズです。万葉の昔から秋の七草の一つに数えられ、根を用いて食材の葛粉や漢方薬が作られた、日本人におなじみの植物です。暑い中で観察しているとその葉に面白い特徴があります。太陽の光の強弱に応じて、葉の角度を変える性質があります。調位運動と呼ばれ、マメ科ではよく見られる現象です。調位運動をすることにより葉温を低く保ち、葉の水使用量を減らし、その結果光合成の効率はむしろ良いことがわかっています。



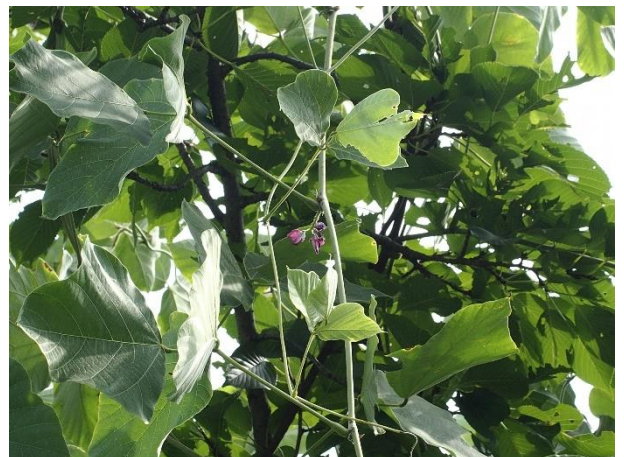
日陰に伸びた蔓の葉
三出複葉が水平に広がる



昼頃の芝生地の葉
太陽光が当たるのを避ける



上：午前 9 時半、葉は水平
下：午後 1 時半、葉が立つ



やっと咲いた花、十分な
栄養成長後に生殖成長する